

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。									
2 評価する領域・分野	◇生徒指導（教育相談含む）									
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> • 問題行動数は、一桁で推移している。交通事故数は、昨年度と比較して減少。頭髪や身だしなみについては、基準を見直し、来年度以降の指導を明確にする。遅刻数は若干減少している。 • 今年度より、携帯・スマートフォンの使用時間を朝のSHRから掃除終了までを禁止とした。これ以外の時間の校内での使用状況において目に余るものがあり、今後の課題とする。ネットパトロールでの違反者なし。 • 生徒指導の進め方については、入学式や育友会総会等において学校の指導方針を保護者に伝えとともに、HPや配布物により理解していただいている。 									
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己指導能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 時間励行と明るい挨拶の実践 • 問題行動の未然防止、早期対応の徹底 ◇規範意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 端正な身だしなみ • 交通ルールの遵守とマナーの習慣化 • 関係機関等との連携 									
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生徒部会、企画委員会、各学年会、職員会議、各種委員会などを通じて、全職員の共通理解を図る。									
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標									
<ul style="list-style-type: none"> (1) 毎朝の遅刻指導。保護者・MSリーダーズによる挨拶運動（毎月15日）・教育相談週間（年2回）の実施 (2) 月はじめの再登校指導・年間を通してのイエローカードの実施 (3) 自転車点検・交通講話・育友会と連携した朝の交通指導、夜間防犯のための反射板の生徒への配布 (4) 揖斐郡内の小中との連携、他の高校との連携、必要に応じた警察との連携 (5) 教育相談係の活用・学校カウンセラーの活用・スペシャリストサポート事業等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 欠席、遅刻者数の推移・問題行動、いじめの認知件数の増減。 (2) TPOに応じて、端正な身だしなみができているか。イエローカードの配付数。 (3) 交通事故件数の増減、不審者被害の増減。 (4) 必要に応じた情報の共有ができているか。 									
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価								
<ul style="list-style-type: none"> • 生徒指導担当者、副担任を中心として、全職員が登校時に挨拶・遅刻指導を実施した。 • 教育相談、M2DV、迷惑調査を通して、気になる生徒や問題を抱えた生徒に接しながら「考え、自己決定させる」指導を実施した。 • 平成25年度より年間を通してのイエローカードによる指導を継続実施した。スカート丈、ボタ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全職員による挨拶、遅刻指導ができたか。 ② 職員間で共通理解を持ち、M2DVや迷惑調査を受けての迅速な対応ができたか。30日を超える不登校生徒数の推移。 	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">A</td> <td style="padding: 0 10px;">B</td> <td style="padding: 0 10px;">C</td> <td style="padding: 0 10px;">D</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">A</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">B</td> <td style="padding: 0 10px;">C</td> <td style="padding: 0 10px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	A	B	C	D
A	B	C	D							
A	B	C	D							

<p>ン、また、携帯・スマートフォンのマナー違反の生徒には一週間の継続指導を課した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月に業者による自転車点検を実施。また、揖斐警察署員による交通講話を実施した。 育友会と連携し、月1回朝の交通指導を実施した。また、危険箇所の見直しによる登下校のルート変更を実施した。 揖斐郡内小中高生徒指導連携強化委員会・学校警察連絡協議会への参加と情報交換、学校・警察とのサポート制度の活用。 	<p>③ TPOに応じた端正な身だしなみができているか。</p> <p>④ 交通事故が減少したか。</p> <p>⑤ 安全を意識した自転車の乗り方ができているか。</p> <p>⑥ 保護者の協力が得られているか。</p> <p>⑦ 必要に応じて、関係機関等と連携し、効果を上げることができたか。</p>	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>11 成果 ・ 課題</p>	<p>○平成25年度より、身だしなみ指導の方策として、イエローカードを導入した。違反者には、5日間該当教員のサインをもらうという方式に変更した。それにより、女子のスカート丈や、男子のボタン等の身だしなみは以前と比較すると、大幅に改善されたが、基準が曖昧なところがあり、来年度には基準を明確にし、全職員統一の指導ができるようにしなければならない。</p> <p>○昨年度、携帯・スマートフォンの使用制限をした結果、情報モラル違反が大幅に減少し、今年度は、ネットパトロールでの違反者は0であった。しかし、制限時間以外の校内での使用状況は目に余るものがあり、今後、校内での使用制限など検討していく必要がある。</p> <p>▲例年と比較して、地域からの要望や苦情が減少した。数件の苦情は、下校時の生徒の交通マナー違反等に関するものであった。登校時、下校時に生徒部が率先し、校外の見回りを定期的に行った成果だと思われる。</p> <p>▲今年度、交通事故数は減少したが、4月、5月の事故が目立った。今年は、自転車と自動車の接触事故の増加が目立った。次年度は4月に徹底した交通マナー向上を呼び掛けていく。</p> <p>▲相談室登校も毎年数人出てきているが、教育相談室に常駐する教員がいない為、養護教諭に負担がかかった。次年度に向けて、相談室の使用規定・常駐教員について見直しが必要である。しかし、学校カウンセラーの導入により、的確なアドバイスのもと、生徒一人一人の心のケアをすることができた。さらに、スペシャリストサポート事業の導入により重大問題のなる前にケアできており、来年度以降も重要な事業となる。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>身だしなみに関しては、イエローカードの導入により、以前と比較するとスカート丈等、大幅に改善した。今年度、女子のリボンの結び方や、ブレザーの前ボタンをとめること等を中心に端正な身だしなみの指導をしてきた。しかし、基準そのものが曖昧で、指導の統一性を図るため、今年度中に基準を見直し、来年度からは、全職員統一の指導ができるようにする。ネットパトロールでの違反者は皆無であった。しかし、掃除の時間に使用している生徒や、歩きスマホも見られるので、次年度は校内での使用そのものを見直していく。また、H27年度、ユネスコスクールに認定され、今年度もボランティア活動にも積極的に取り組み、MSリーダーズを中心に地域活動に取り組んできたので、次年度にさらに発展させていきたい。教育相談においては、M2DV (H29からi-checkに変更予定) や、迷惑調査を通して、迅速な対応ができるようになってきた。これは、学校カウンセラーの導入が大きな成果とみられ、さらに、スペシャリストサポート事業の活用は、職員の負担軽減とともに、対象生徒とその家族の安心感を生むなど、大きな成果として表れている。</p>		

【意見・要望・評価等】

- 学校行事に参加した際、女子の服装がきちんとしていて、ちょっとびっくりし感心した。やはり基本は「身だしなみ」だと思う。また、地域のみなさんにも好印象だと思う制服をきちんと着る「美しさ」を再発見してほしい。罰があるからではなく、自主的にきまりが守れるようになることを目指してほしい。
- 事故や問題発生の分析を行い、それをもとに実効的な対策を行い、その成果を検討していることは評価できる。さらに、問題行動がなぜ生徒本人にとって危険なのかを本人に納得できるように説明する等、「説得より納得」の姿勢がすばらしい。
- 毎朝の遅刻指導、挨拶運動、小中学校、育友会との連携など先生方のご指導ありがとうございます。また、いじめのアンケートも年間2回も取られ、しかも「学校で書かせるのではなく、家庭で書いてもって来る」といったきめ細かなご指導を感じた。身だしなみの取組も賛成します。
- 自転車通学の生徒の中にイヤホン使用者をたまに見かけます。一層の指導をお願いします。